



思い出や感謝の気持ちを胸に新たな出発へ

本日、令和2年度の修了式を迎えました。先日18日の卒業式では、8名の6年生が東大村小学校第62回卒業生として、この学舎を巣立って行きました。卒業証書をしっかりと受け取り、「別れのことば」そして、卒業生の歌「最後のチャイム」に8名がこれまでの思いを込めながら、会場いっぱいに響かせてくれました。在校生も卒業生に思いがしっかり伝わるように大きな声で呼びかけました。思い出に残る感動的な卒業式となりました。この1年間、保護者や地域の皆様には、本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

○校長「式辞」から

本年度、東大村小学校を巣立つ8名の子どもたちに、次のような言葉を贈りました。以下、式辞からの抜粋です。

卒業する8名のそれぞれの素晴らしい一面に触れ、感謝の気持ちと喜びをたくさんいただきました。

本日、東大村小学校を巣立っていく皆さんに、心にとめておいてほしいことを述べてお祝いの言葉とします。

それは、「どんな小さなことでもいい、これだけは人に負けないものを持ち、自分を大切にすることが、自尊心をもち続けてほしい。」ということです。江戸時代の終わり、激動の時代をたくましく駆け抜けた坂本龍馬という人物がいました。彼は、剣術を学び、剣では人に負けないという自信が芽生え、剣に対する自信が自分への自信に繋がり、どんな困難があっても突き進む人物へと変わっていったと言われます。人に負けないものをもてたことで、自分を好きになり、この自尊心が自分への自信になっていくということ。本校の教育目標である「自分大すき」になるために、いつも行事や学期の始めに、目標を立て、それに向け、こつこつと取り組み、達成感を味わい、自信に繋げてほしい、と話してきました。このことを心にとめ、力強く歩んでほしいと思います。

.....略
この東大村小学校の卒業生であることに自信と誇りをもち、これから目標に向かって大きく羽ばたいていってください。

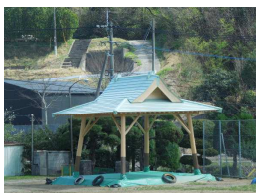
皆さんの健やかな成長と今後ますますの活躍を祈念しています。



○相撲場が新しくなりました！

屋根や柱の腐食が進み、建て替えが必要となっていた相撲場が、このほど新しくなりました。この1年、コロナ感染拡大に伴い、各種の相撲大会が中止となり、相撲部の活動もできませんでした。

次年度は、ふれあい相撲の担当校として、本校で開催予定です。新しくなった相撲場で、子どもたちの熱戦が繰り広げられることを願っています。



おめでとう！

〈第2回BGカップ〉

優勝 東大村バレーチーム

○年間目標5千冊にあと一步

本年度の年間図書貸出冊数の目標を5千冊に設定して、取り組んできました。結果は、目標の5千冊にあと一步の4,871冊でした。併せて各学年の目標冊数も設定し、その目標冊数に達した子どもたちに年間目標クリア賞を贈ってきました。こうした取組を通して、読書への意欲と共に読書習慣が徐々に高まってきています。今後も家庭との連携で、更なる読書の推進を図っていただきたいと思います。

転退職職員からのご挨拶

校長 村上 尚道 [定年退職] (富の原小へ)

3年間大変お世話になりました。優しく素直な子どもたちと、とても温かい保護者や地域の方に支えられ、とても充実した幸せな最後の3年間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

3・4年担任 村山 崇 [西大村小へ]

東大村小学校で、たくさんの素敵な思い出ができました。皆さんの温かさや優しさに支えられ、幸せな3年間を過ごすことができました。皆さんからいただいたものを胸に、新しい学校でも頑張ります。本当にお世話になりました。

2年担任 高橋 秀幸 [退職]

あっという間の1年間でしたが、内容が濃い1年間でもありました。2年生の2人や東小の子どもたちのお陰で、大変思い出深い時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。子どもたちがさらに活躍することを心から願っています。

養護 岩永 美香 [諫早市立喜々津東小へ]

3年間、保護者の皆様のご協力により、大過なく過ごすことができました。また、人懐っこい子どもたちのお陰で、運動場や体育館での鬼ごっこやボール遊び、雪の日の雪合戦など、楽しい思い出にたくさん恵まれました。東小の子どもたちが、夢に向かって元気に成長されることを願っています。

事務 川原 麻衣子 [県立諫早農業高へ]

東大村小で約2年間事務をさせていただいた後、5年間育児休業を取らせていただきました。東大村小での復帰を楽しみにしていましたが、今回転勤となってしまい、本当に残念です。保護者の皆様には、長期間に渡り、優しく見守っていただき、誠にありがとうございました。